

株主通信「イードプレス」

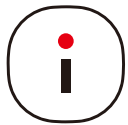
iid
Press

第24期 上半期報告書

2023年6月期(2022.7.1~2022.12.31)



We are the User Experience Company.



株主の皆さまへ TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年6月期上半期は、新型コロナウイルスの感染が徐々に落ち着いてきたものの、ウクライナ侵攻、インフレ懸念など引き続き経済情勢は不透明な状況が続くなか、ネット広告に依存しない360度ビジネスの推進や、エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社（以下、FITP社）の子会社化などにより、連結売上高は2,896百万円で上期比較では過去最高となりました。営業利益は300百万円で前年同期比減益となりましたが、上期営業利益の過去4年平均成長率（CAGR）は12%と堅調を維持しました。

当社が掲げるポートフォリオ戦略のなかで、2022年11月にFITP社の株式を取得し子会社といたしました。FITP社は自動車の衝突・安全分野やデータセンターのファシリティマネジメントなど専門性の高い事業を展開しております。特に自動車業界においては、今後当社グループの強みであるメディア・リサーチによる発信力とのシナジーにより、CASE/MaaS時代における日本のモビリティ革命への貢献を目指してまいります。

また、M&Aや新規事業開発への成長投資と併せて、株主の皆さまへの利益還元の方針をより明確にするために、安定的かつ継続的な配当を重視する方針として、連結株主資本配当率（DOE）1.5%を目安とする配当方針を公表しておりました。このたびの2023年6月期上半期の連結業績を踏まえ、当社グループの業績が順調に推移していることから、これまで未定としておりました2023年6月期末の1株あたり配当予想を12円とさせていただきますのでご報告申し上げます。

私たちイードグループは、成長投資と利益還元をバランスよく行いながら、ステークホルダーの皆さまとの良好な関係を築き、これからも中期業績目標達成に向けて尽力してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



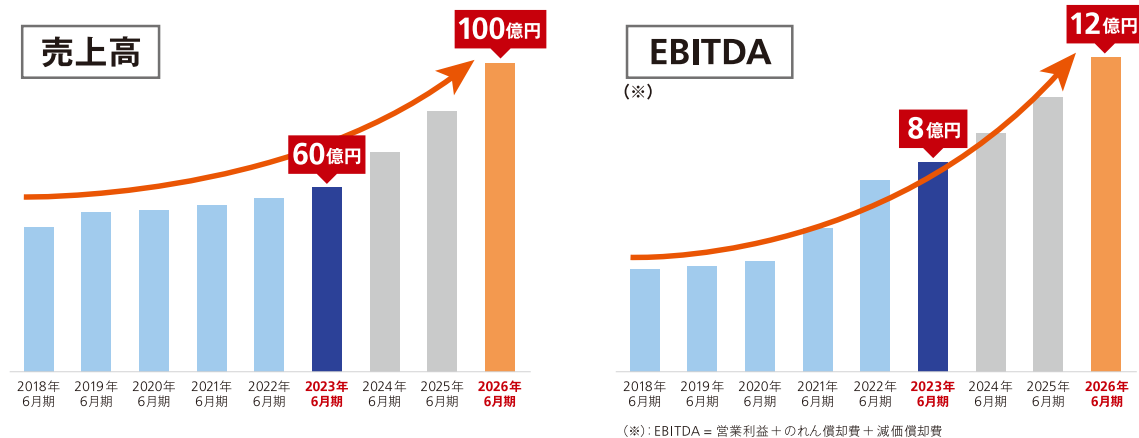
株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	7
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2023年上半期 業績ハイライト	5		

中期業績目標について

クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）を主軸に、積極的なM&Aや事業開発により、手がけるメディアや事業領域の拡大を図るとともに、各領域でのビジネスモデルの多角化、事業機会と収益の多様化・最大化により、2026年6月期で連結の売上高100億円、EBITDA12億円を目指します。



株主還元方針について

従来のM&Aや新規事業開発への成長投資と併せて、株主の皆様への利益還元の方針をより明確にするために、安定的かつ継続的な配当を重視する方針に変更いたします。

2023年6月期末

配当予想：**12円**／株

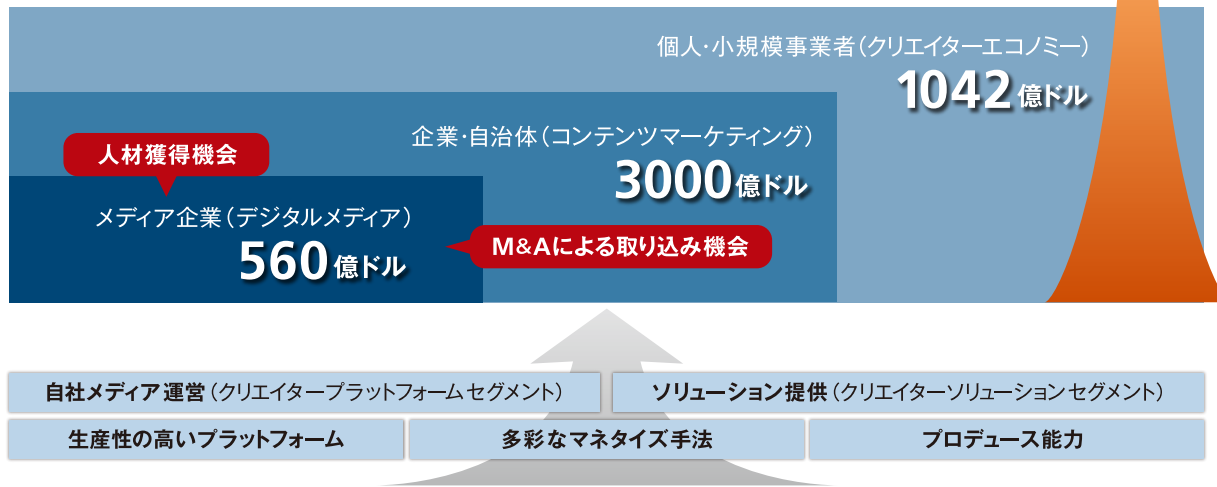
として、配当を実施する方針

クリエイターエコノミーカンパニーへ

インターネットがWeb3.0に進化し、誰もがメディアになり、誰もがメディアを作る世界が到来しています。
イードは、プラットフォームとソリューションを通じて、誰もがメディア（発信者）となり生きていく
クリエイターエコノミーの世界をサポートしてまいります。

Creator Economy Company

市場参加者が増え拡大するメディア市場において
成長機会を追求します



各数値は世界市場のものです

デジタルメディアの市場規模予測（2021年）

<https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/digital-publishing-global-market-report-2020-30-covid-19-implications-and-growth>

コンテンツマーケティングの市場規模（2020年）

<https://www.businesswire.com/news/home/20210126005925/en/Global-Content-Marketing-Market-Trajectory-Analytics-Report-2020-2027-Lead-Generation-is-Projected-to-Account-for-US295.1-Billion-of-the-Total-829.6-Billion-Industry---ResearchAndMarkets.com>

クリエイターエコノミーの市場規模予測（2021年）

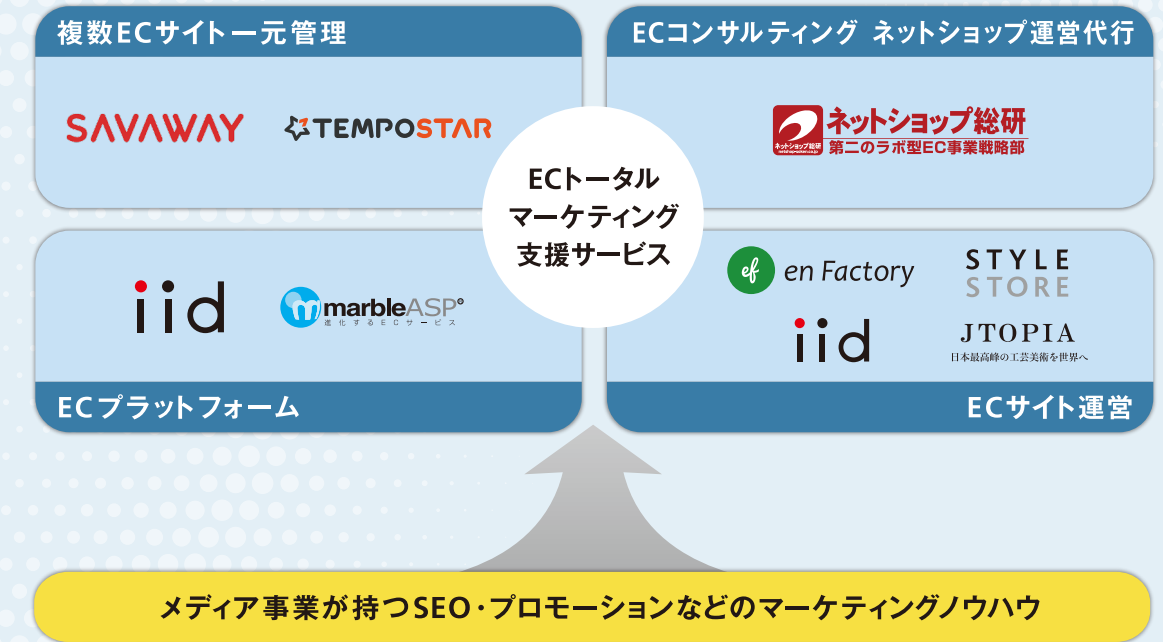
<https://influencermarketinghub.com/creator-earnings-benchmark-report/>

EC 関連事業を強化

～ECのトータルマーケティング支援サービスを拡充

2021年7月のSAVAWAY子会社化を機に、「SAVAWAY× ネットショップ総研」、
「SAVAWAY× エンファクトリー」など、それぞれのアセットを掛け合わせた
グループ内連携を進めています。

さらにメディア事業のSEOやプロモーションなどのノウハウも組み入れることで、
ECサイトのトータルマーケティング支援サービスを拡充しています。



2023年上半期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は上半期比較で過去最高
- ・連結の営業利益は前年同期比84%に留まるも営業利益率は2桁を維持

連 結

	2023年 6月期 上半期	2022年 6月期 上半期	前年 同期比
売上高	2,896	2,714	107%
営業利益	300	355	84%
営業利益率	10.4%	13.1%	▲2.7pt

C P

	2023年 6月期 上半期	2022年 6月期 上半期	前年 同期比
売上高	2,587	2,372	109%
営業利益	235	273	86%
営業利益率	9.1%	11.5%	▲2.4pt

C S

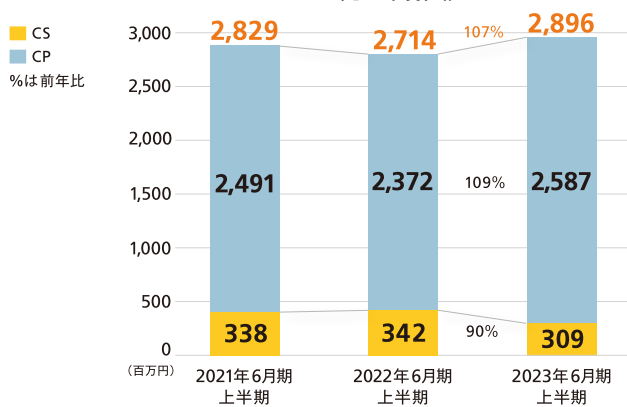
	2023年 6月期 上半期	2022年 6月期 上半期	前年 同期比
売上高	309	342	90%
営業利益	65	81	80%
営業利益率	21.0%	23.8%	▲2.8pt

(百万円)

2023年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

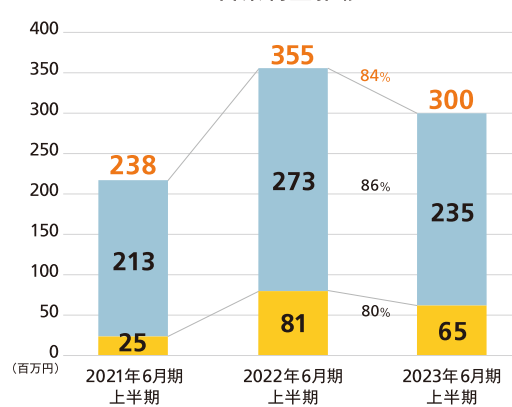
- ・CP事業の売上高は堅調に推移、営業利益は前年同期比86%に留まった
- ・CS事業は売上高、営業利益とも前年同期を下回った

ー売上高推移ー



(注) 2022年6月期から新収益認識会計基準を適用

ー営業利益推移ー



2023年上半期 経営成績と事業概況

- ・売上高は前年同期比107%と堅調
- ・営業利益、経常利益はやや物足りない水準であるが、下半期に挽回を図る

当上半期の売上高は2,896百万円(前年同期比107%)、営業利益は300百万円(前年同期比84%)、経常利益は306百万円(前年同期比88%)、当期純利益は209百万円(前年同期比86%)となりました。

CP事業では、自動車関連事業を行うエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し連結子会社化しました。またビジネスパーソン向けのメディア「決算が読めるようになるノート」等4つのサイトを事業譲受し運営を開始しました。

ネット広告売上は、アフィリエイト広告の好調により847百万円(前年同期比100%)となりました。またM&Aによる事業拡大により、データ・コンテンツ提供売上は1,064百万円(前年同期比120%)、システム売上は438百万円(前年同期比127%)と大きく増加しました。

CS事業では、リサーチソリューション及びECソリューションとも、前年同期と比較して、粗利率の高い大型案件の受注が少なく、売上高、営業利益ともに減少となりました。

2023年上半期 貸借対照表

- ・当期純利益の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加、前期末より純資産も大きく増加

当上半期における総資産は5,920百万円(前期末比751百万円増加)となり、負債総額は1,658百万円(前期末比318百万円増加)となりました。これは主に、エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことなどによるものです。

純資産合計は4,262百万円(前期末比434百万円増加)となりました。主な増減は、利益剰余金の増加197百万円、非支配株主持分の増加137百万円、その他有価証券評価額金の増加46百万円となります。

	2023年6月期 上半期	2022年6月期 上半期	前年同期比	通期予想	進捗
売上高	2,896	2,714	107%	6,000	48%
営業利益	300	355	84%	730	41%
経常利益	306	349	88%	730	42%
当期純利益	209	242	86%	500	42%

(注1) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(注2) 通期業績予想は、2022年8月12日に開示したものです。

(百万円)

	2023年6月期 上半期末	2022年6月期 期末	前期末比 増減額
流動資産	4,288	4,050	+238
固定資産	1,632	1,118	+514
資産合計	5,920	5,169	+751
流動負債	1,105	1,057	+48
固定負債	552	283	+269
負債合計	1,658	1,340	+318
株主資本	4,012	3,760	+252
利益剰余金	2,275	2,078	+197
自己株式	▲64	▲85	+21
純資産	4,262	3,828	+434
負債・純資産	5,920	5,169	+751

(注) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(百万円)



エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社を子会社化

自動車の衝突・安全およびデータセンター領域でサービスを提供するエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し子会社化、日本のモビリティ革命への貢献を目指します。



自動車の衝突・安全分野と、データセンターや商業施設・オフィスビルのファシリティマネジメントなどを提供するエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の発行済株式の70.7%を取得し子会社化しました。今後は当社グループの強みであるメディア・リサーチによる発信力と、エフ・アイ・ティー・パシフィックの自動車の衝突・安全領域における知見やファシリティを活かし、メディア・リサーチ・商品評価の観点から、グループをあげてCASE/MaaS時代における日本のモビリティ革命への貢献を目指してまいります。



加速式スレッド試験機

主に自動車関係の衝突安全試験に使用されています。



データセンター管理システム

ラック・電源設備等の統合管理、LAN・電源の配線管理、消費電力や重量管理・監視連携などを提供しています。



教育関連領域のビジネスとB2Bメディアの強化

「リセママ」ブランドで、少子化においても堅調な成長を続けている教育関連領域を強化しています。

国際教育フェスタを初開催

学校のネット回線速度計測サービスを提供開始



Let's meet the world with us!

リセママとイードグループのリンクにて「リセママ国際教育フェスタ」を初開催しました。早期の国際教育に注目が集まり、インターナショナルスクールの開校や、国際教育や外国語教育に注力する学校が増加する中で、最新の情報に触れる機会として11校・団体が出展しオフライン/オンラインで展開。その他、リンクでは約20回の進学イベントを2023年に開催予定です。



学校でのインターネット環境の整備を支援するため「学校インターネット回線速度計測」のサービスを今月から立ち上げ、順調に計測回数が増加しています。本サービスは、サーバ環境に左右されない通信速度計測システムとして定評があり、昨年サービス開始20周年を迎えた「RBB SPEED TEST(アールビービー スピードテスト)」を学校向けに改良し提供しています。

各業界のビジネスパーソンに向けたメディア展開を継続的に強化しています。

ビジネスメディアの領域を拡大



好調なビジネスメディアを強化するため、新しいクリエイティビティに焦点を当てた「Branc」、ブロックチェーンゲームの未来を考えるメディア「Web3GameBusiness.jp」、環境やSDGsとビジネスを取り上げる「The Green Economy」、ECやコマースビジネスを中心にした「Commerce Innovation」の4メディアをローンチしました。



会社概要

会社名 株式会社イード（IID, Inc.）
設立 2000年4月28日
所在地 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー17階
資本金 899,524千円
事業内容 メディア事業／リサーチ事業／メディアコマース事業
従業員数 単体155名／連結269名
子会社 株式会社エンファクトリー
株式会社 ネットショップ総研
マイケル株式会社
SAVAWAY株式会社
株式会社リンク
エフ・アイ・ティー・バシフィック株式会社
持分法適用 株式会社絵本ナビ
SODA株式会社

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 須田 亨
取締役○ 大和田 廣樹 （株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取締役○ 吉崎 浩一郎 （株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役 山中 純雄
監査役○ 安達 美雄
監査役○ 藤山 剛 （株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 5,062,600株
株主数 2,119名

■大株主の順位			
順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.17%
2	株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.38%
3	株式会社 マイナビ	400,000	8.02%
4	株式会社 SBI証券	296,030	5.93%
5	株式会社 ティーガイア	250,000	5.01%
5	株式会社 ポブラ社	250,000	5.01%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.01%
8	宮川 洋	194,700	3.90%
9	永井 詳二	150,000	3.01%
10	MSIP CLIENT SECURITIES	147,200	2.95%

（注1）2022年12月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。
（注2）当社は、2022年12月31日時点で自己株式74,093株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場 東京証券取引所グロース
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主通信「イードプレス」



第24期 上半期報告書

2023年6月期 (2022.7.1 ~ 2022.12.31)



We are the User Experience Company.

株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>